

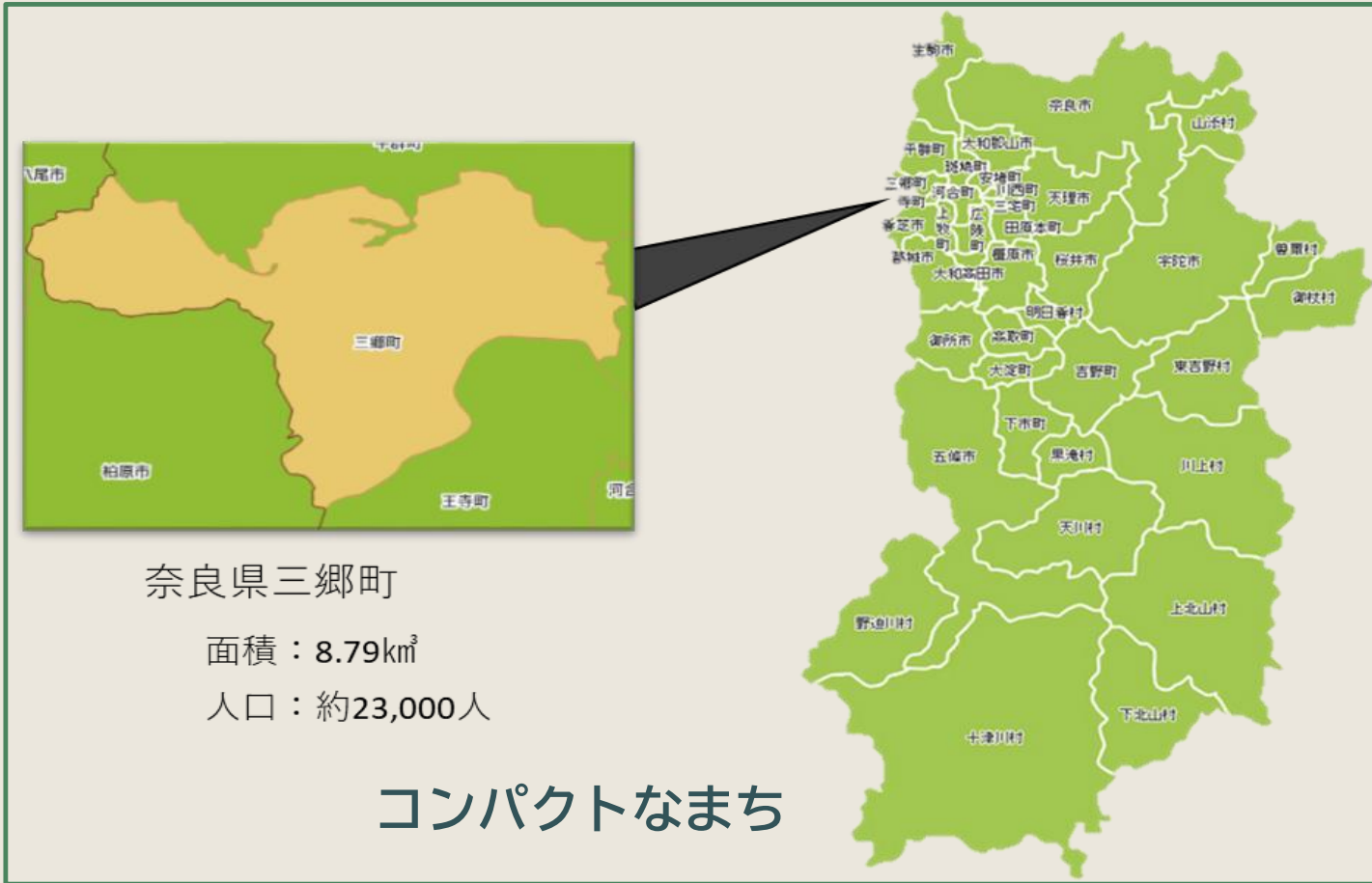
スマートシティ官民連携プラットフォームオンラインセミナー

# 三郷町スマートシティ構想

奈良県三郷町

# 三郷町の概要

## 奈良県三郷町



- ・位置  
奈良県北西部
- ・隣接地  
大阪府八尾市、柏原市  
奈良県平群町、斑鳩町、王寺町
- ・鉄道駅  
近鉄生駒線 信貴山下駅  
近鉄生駒線 勢野北口駅  
JR大和路線 三郷駅
- ・教育施設  
奈良県立西和清陵高等学校  
奈良学園大学  
ハートランドしぎさん看護専門学校  
奈良県立病院機構看護専門学校
- ・病院(県立)  
奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター  
信貴山病院ハートランドしぎさん
- ・友好都市  
埼玉県三郷市 長野県安曇野市
- ・包括連携協定  
大阪府柏原市
- ・防災協定  
大阪府熊取町

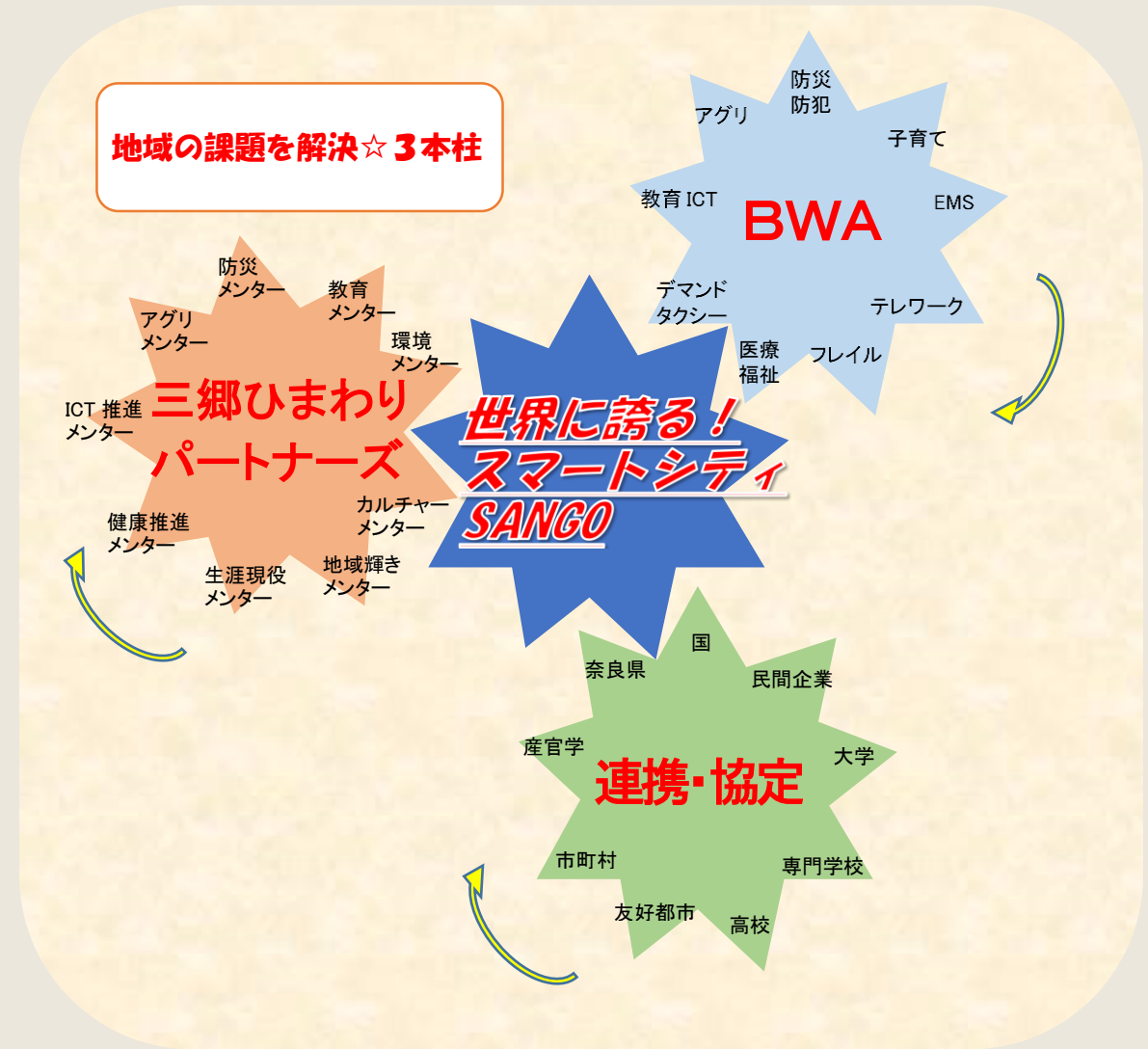


# スマートシティを進めるに至った経緯

- 4つの地域課題
  - ・災害が多い（水害）
  - ・働く場所が少ない
  - ・高齢化率が高い
  - ・坂道が多い
- 令和元年7月に、「SDGs未来都市」に選定
- 地域課題の解決方法として、
  - ・メンター
  - ・地域BWAによるICT・IoTの活用
  - ・民間企業、国、県、他自治体等との連携、協定



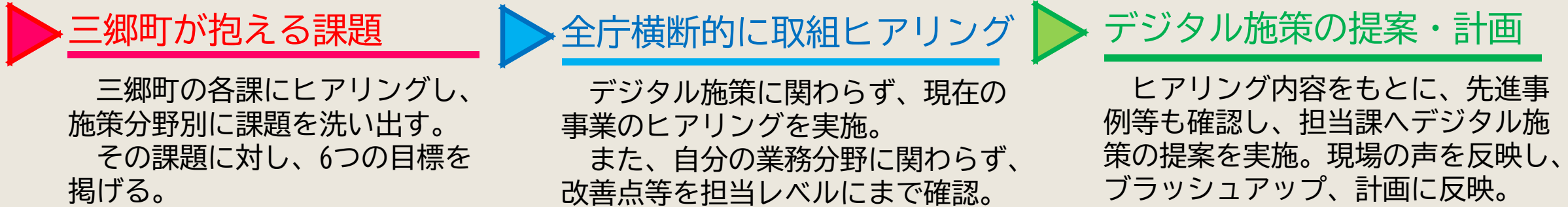
## SDGsの推進から スマートシティの推進



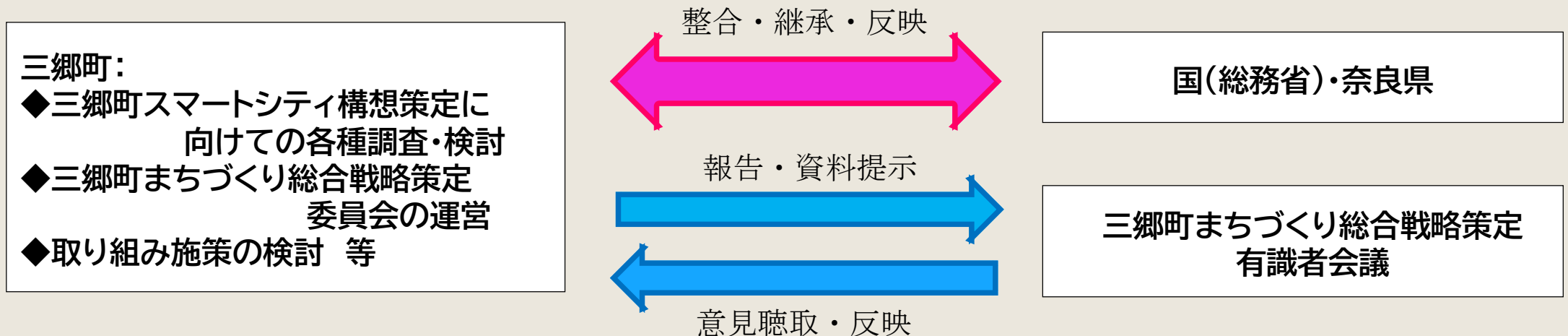
地域の課題を解決する3本柱

# 三郷町スマートシティ構想の策定方針について

## 策定までのスキーム



## 策定の推進体制

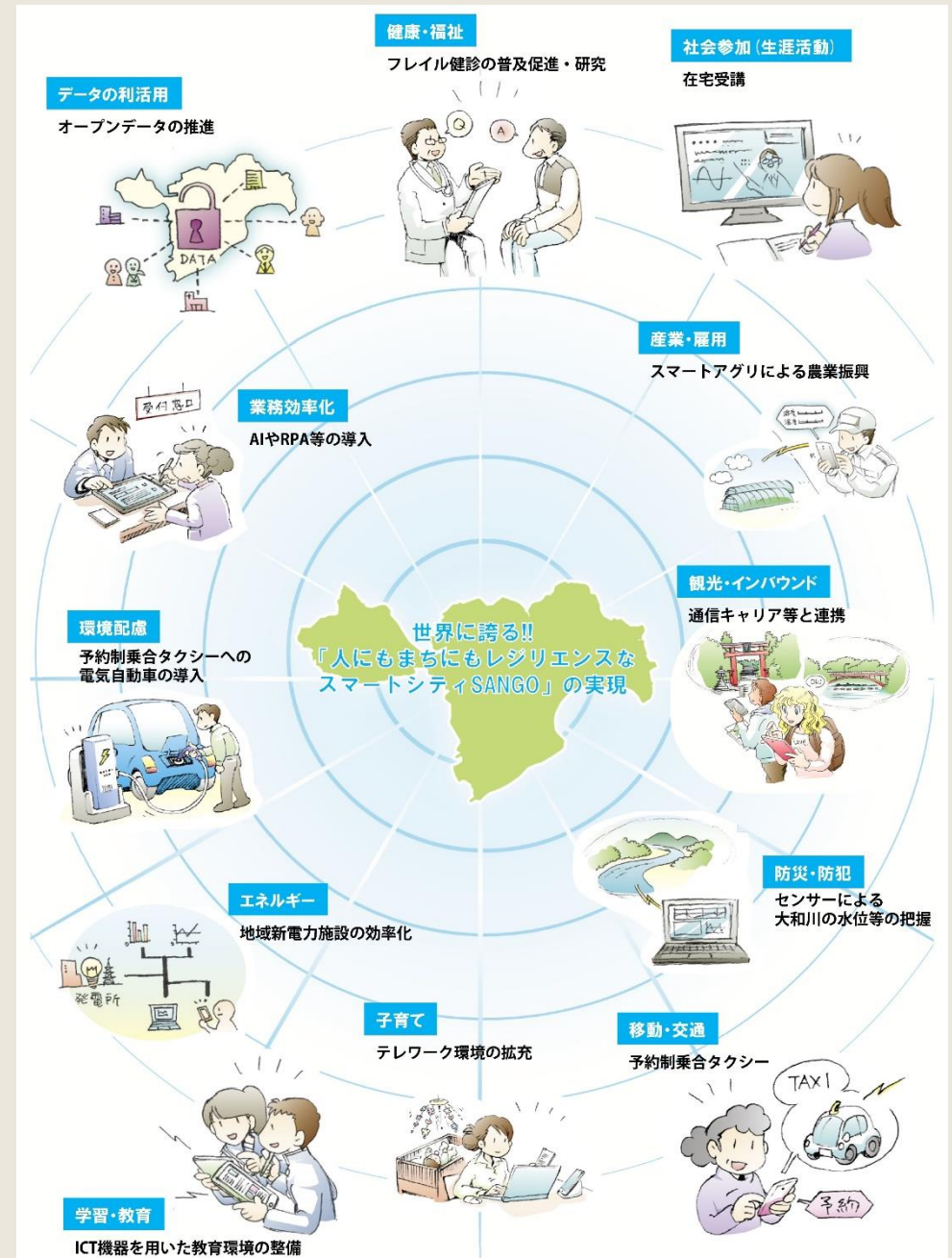
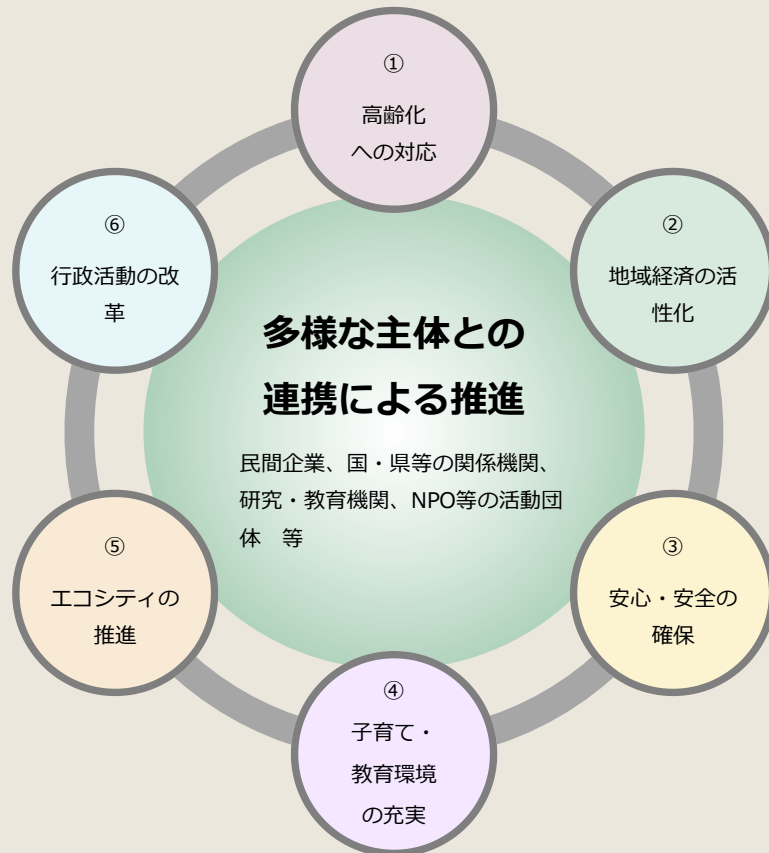


# 本町におけるスマートシティの概要

## 基本理念

子どもから高齢者まで誰一人取り残すことなく、誰もが生涯にわたって活躍でき、常に新しい時代に適応し、持続的に発展するスマートシティを目指す

## 取組施策





# 本町におけるスマートシティの特徴（地域BWAの構築）

## 地域BWAとは

- ・地域広帯域移動無線アクセス(Broadband Wireless Access)システム
- ・大手通信キャリアとは異なる周波数の電波を用いた無線システムのこと

## 地域BWAの特徴

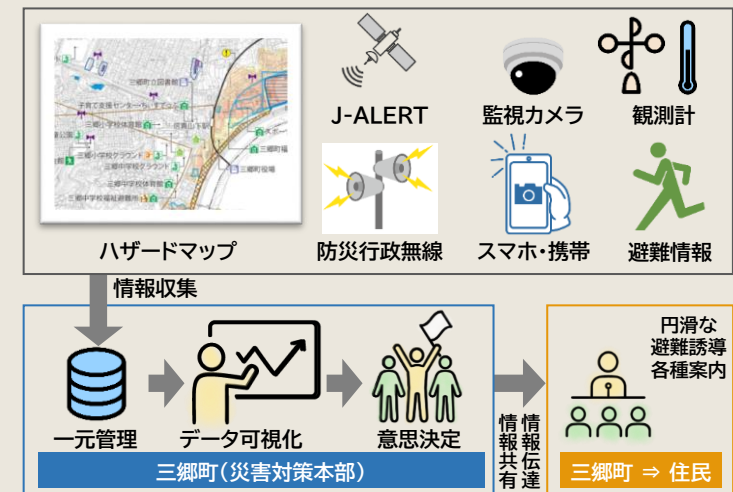
地域内独自のネットワークであり、他地域の災害等による通信障害を受けない。  
また、閉域網として活用でき、外部からの攻撃を受けることがない。

## 本町での取り組み

民設民営により、町内6ヶ所に基地局を設置し、全域を網羅  
令和3年11月より、運用開始

## 本町での活用事例

- ・防災システム
- ・ビーコンによる見守り（こども・高齢者）
- ・空き家・道路損傷状況データ
- ・ヘルスケア



# 本町におけるスマートシティの特徴（地方版総合戦略との関係）

## 地方版総合戦略の基本目標

基本目標①  
新たな産業振興と人材育成等による地域経済の持続的な発展

基本目標②  
地域特性・資源を最大限に活用し、新しいひとの流れを三郷町に呼び込む

基本目標③  
若い世代と子どもたちが住みやすく、結婚・出産・子育ての場として選ばれる生活環境づくり

基本目標④  
誰もが健康で、安心して住み・活躍できる魅力的な地域づくり

## スマートシティ構想の目標

①高齢化への対応

②地域経済の活性化

③安心・安全の確保

④子育て・教育環境の充実

⑤エコシティの推進

⑥行政活動の改革

スマートシティ構想の位置づけ・・・総合戦略のKPIを達成するための構想

# 本町におけるスマートシティの取組事例（未来技術社会実装事業）

令和2年7月、三郷町は内閣府の未来技術社会実装事業に採択され、  
未来技術(5G、AI、自動運転)を活用し、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

## 路線バスの自動運転化社会実装

## AI・ローカル5Gを活用した顔認証・画像認識による見守り・防犯システムの社会実装

活用技術	事業概要
自動運転 5G	JR三郷駅～奈良学園大学間を対象に、自動運転車両の実証実験を行い、運転手不足の解消及び公共交通の維持・充実を目指す。

活用技術	事業概要
AI 5G	防犯カメラ(固定・移動)を活用した『顔認証』による子ども、高齢者等の見守りの実証実験を行う。 『AI画像認識』による車いすの利用者等が困っている場面を自動で検知可能な防犯システムの実証実験を行う。



※写真は車両のイメージ※

図 自動運転車両の事業イメージ

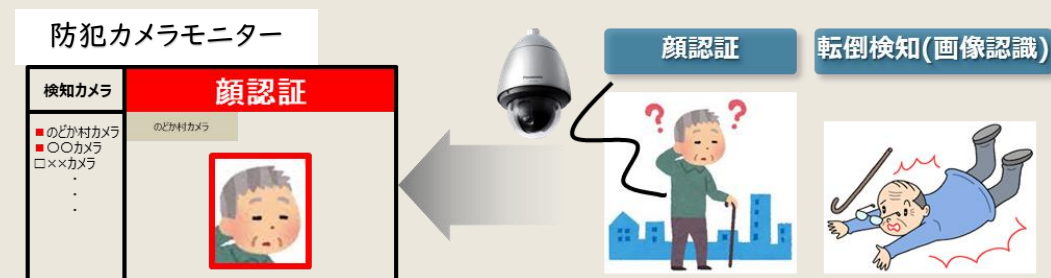
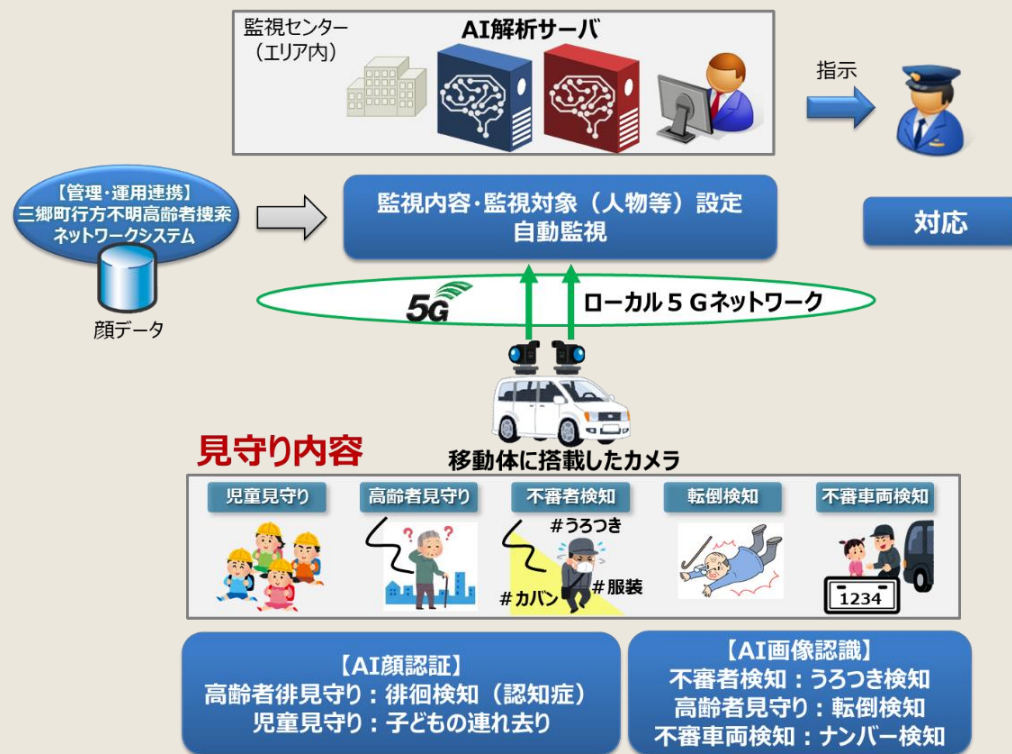


図 顔認証・画像認識による見守り・防犯システムイメージ



# 本町におけるスマートシティの取組事例（未来技術社会実装事業）

総務省「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」により令和3年度実証



出典元：Google社「Google Earth」

従来の固定式カメラによる見守りシステムでは、監視できるエリアがカメラの設置場所に依存し、かつ限定される。

移動体に見守り用カメラを設置し、ローカル5Gを活用したリアルタイムかつ高精細な映像の無線通信とAI顔認証・画像認識技術を融合することで、エリア全体を対象とした効果的かつ効率的な、高度な見守りシステムの実現を目指す。

# スマートシティ構想策定による効果・課題等

## 策定における苦労

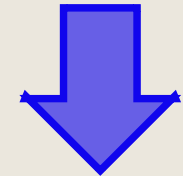
- デジタル化に対する情報・知識
- 地域に合った事例の収集

## 課題

- デジタルディバイドの解消
- 官民連携

## 策定効果

- デジタル化を推進する課の創設
- 情報リテラシーの向上
- マンパワーへの偏りを脱却



実現性の高い「三郷町スマートシティ構想」の策定

策定したスマートシティ構想をベースに

今後の展開

官民連携によるスマートシティの推進



ご清聴ありがとうございました